



Insemination Medium

媒精用に特化したready-to-useの媒精専用メディウムです。
ご要望の多かった50mlもラインナップに加わりました。



50mlのラインナップ追加を機に、この度、P+ファティリゼーションメディウムは
インセミネーションメディウムに商品名を変更致しました。

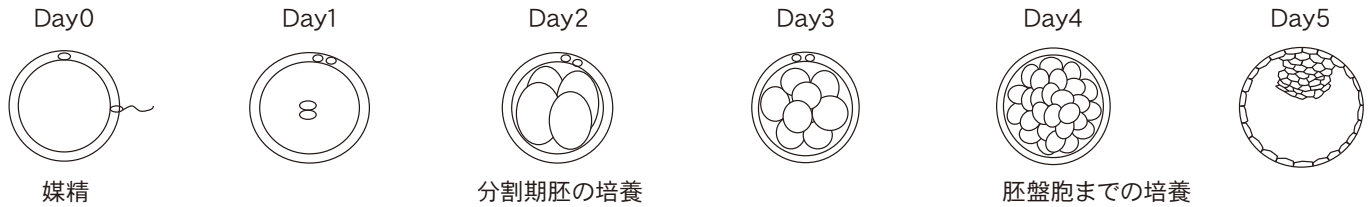
※内容・成分につきましては変更は御座いません。

- 5~6% 気相下でご使用ください。
- NPS(代替血清)が10%添加済みなのでそのままご使用いただけます。
- ロット毎にマウスエンブリオアッセイ、pH、浸透圧、
 エンドトキシン濃度のチェック、無菌試験を行っております。
- 使用期限はバイアルラベルの下部に表示してあります。

例 : Exp.2015.05.26= 使用期限2015年5月26日

カタログ番号	品名	規格	内容	備考
IS020	インセミネーションメディウム	媒精 (Day0~1)	20ml	製造後90日/ 要冷蔵 (2~8℃)
IS050			50ml	

Insemination Medium



使用例

媒精用ディッシュ (Falcon 353037) のセンターウェルに1ml、周りに4mlのインセミネーションメディウムを入れ、採卵前日 (もしくは短くても媒精の4時間前) から5~6%CO₂インキュベーター内で平衡化させておきます (無加湿型インキュベーターで平衡化を行う際は必ずオイルカバーをしてください)。

1個のOCC (卵子一卵丘細胞複合体) と、グッドスパーム®で濃縮・洗滌処理した精子10万個の運動精子を上記ディッシュに加えて媒精を行います。複数のOCCを媒精する場合にはOCCの個数×10万個の精子を加え5~6%CO₂インキュベーター内に静置します。媒精翌日、もしくは数時間後にマイクロピペットを使用して丘細胞を丁寧に除去し受精を確認してください。受精確認後はONESTEPメディウム、またはP+クリベージメディウムとP+プラストシストメディウムを使用して胚培養を継続してください。

特長

インセミネーションメディウムは媒精用に特化した組成の媒精専用メディウムです。

従来のHTFメディウムにエネルギー代謝、浸透圧の維持調整及び胚の発育促進のため、タウリン及び5種の非必須アミノ酸及びパントテン酸、ヒアルロン酸等を加えており、高い受精率を得るためにグルコースは最適な濃度に調整されています。また、高品質を長期間維持するために、製造・分注過程で5%CO₂、5%O₂、90%N₂ガスを充填しています。

至適pH

胚培養にはpHの管理が非常に重要です。ご使用前に5~6% CO₂の培養環境下で平衡化してください。平衡化の後、メディウムのpHを測定し下記の至適pH範囲であることが望まれます。

カタログ番号	培養液	至適pH
IS020	インセミネーションメディウム	7.20~7.40
IS050		

注意点

使用期限はラベルに記載されています。ただし、開封後は無菌的に冷蔵保存し(2~8℃)、なるべく早めにご使用ください(2週間以内が望ましい)。バイアルから必要量を採取する時はCO₂ガスの漏出を防ぐために速やかに密封してください。

※本製品は薬事法で定めるところの医療機器、体外診断薬ではありません。ヒトまたは動物の治療に用いるものではありません。※記載の仕様等は、予告なく変更される場合があります。写真と実際の製品とは若干異なる場合があります。

販売代理店

販売元



株式会社ナカメディカル

〒190-0012 東京都立川市曙町1-18-2 一清ビル別館
Tel.(042)529-9313 Fax.(042)529-9517

<http://www.nakamedical.co.jp>

製造元 ● 株式会社細胞科学研究所